

大淀中学校ブロックの小中一貫教育

小中一貫教育構想図



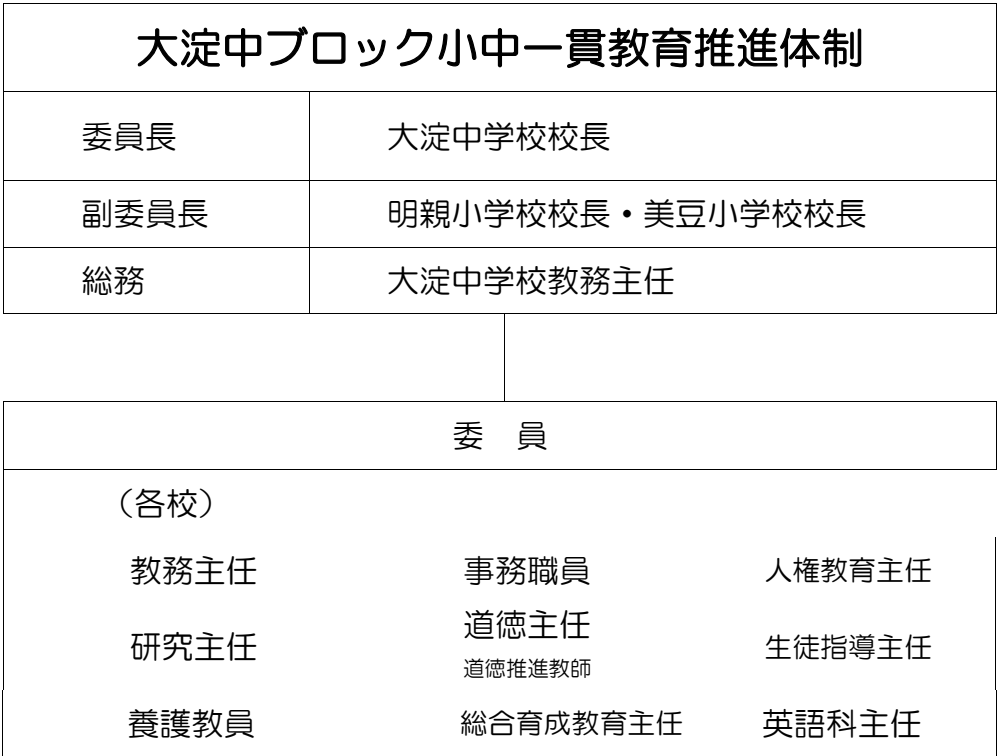
義務教育卒業時につけたい力 学力向上（家庭学習の定着） ○生涯にわたって、学び続ける力 ○自ら学び、考える力								
学年または学年区分ごとにめざす姿 わかる・できる・たのしい 集中する 続ける 集中する 考える 粘り強く続ける。								
小１（１年）	小２（２年）	小３（３年）	小４（４年）	小５（５年）	小６（６年）	中１（７年）	中２（８年）	中３（９年）
取組・活動 ＜明親・美豆小学校の取組＞ 家庭学習 音読（全員に同じ課題を与え、家の人に聞いてもらいサインをもらう。）						＜大淀中学校の取組＞ 教科書を読む。 終末課題・教科の課題		
○国語・算数の練習プリント ○日記 ○自主学習ノート ・言葉集め ・文作り ・漢字 ・計算 ・その日の学習の復習 ・視写 ・読書感想文 ・意味調べ ・各教科のまとめ ・テスト勉強 ・予習 ○計算ドリル ○漢字ドリル（漢字学習） ○問題集 ○ノートの不備を整える。 ・新出の語句，用語，単語を調べる。・教科書の例題を解く。								
読書 手元に本を置き毎日読む。 好きな本を読む いろいろな本を選んで読む。 いろいろなジャンルの本を読み視野を広げる。 新聞を読む。								
家庭学習の時間 毎日決めた時間に自分から ○15分位でできる内容 ○30分位でできる内容 ○45分位でできる内容 ○1時間位でできる内容 ○1時間15分位でできる内容 ○1時間30分位でできる内容 ○2時間位でできる内容 ○2時間位でできる内容 ○受験対策問題をする。 ○2時間くらいでできる内容 （部活引退後は3時間）								
＜中学校ブロックとしての取組＞ ○家庭学習の内容が、宿題から児童生徒の興味・関心に基づく自主学習へと移行していくよう、意図的・計画的に宿題を出す。 ○授業と家庭学習をつなぐ工夫をする。 ・学習の楽しさを実感できる魅力ある授業を展開する。 ・個に応じて学習の方法を具体的に指導する。 ・授業に関連する課題を工夫し、予習・復習をさせる。 ・家庭学習のねらいを分かりやすく示す。 ・努力を認め、学習の成果を実感させる。 ○宿題をきっかけに家庭学習の習慣化を図る。								

義務教育卒業時につきたい力 自尊感情の醸成（自己肯定感・自己有用感の育成） ○人間としての在り方・生き方を踏まえ、自らの個性・適正を伸ばしながら、生き方について考え主体的な選択と進路の決定ができる力 ○他者の善意や支えへの感謝の気持ちと、それに応える力 ○社会の一員としての自覚を持った行動ができる力								
学年または学年区分ごとにめざす姿 相手との関わりの中で、自分の特徴や存在に気づける子ども 小集団や学級の中で、自分の特徴や自分ができに気づける子ども			集団の中で、自分の特徴を知り、自分の役割や存在感を感じる子ども			多様な考え方の受容と、自分の個性の価値を理解し、社会生活における適正を確認できる子ども		
小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
取組・活動 ＜明親・美豆小学校の取組＞ ○自分の好きなこと、得意なことやできることを増やし、さまざまな活動に意欲と自信をもって取り組ませる。 ○成功体験により、達成感や学習意欲を向上させる。 ○よかったこと見つけ		○友だちの良さを認め、協力して活動する中で、自分らしさや役割を自覚させる。 ○成功体験により、達成感や学習意欲を向上させる。 ○きらり見つけ		○苦手なことや初めて挑戦することに失敗を恐れずに取り組み、継続し、やり遂げることで集団の中での自己有用感・自尊感情を、各行事を通して育てる。 ○今日のスター		＜大淀中学校の取組＞ ○自校への誇り・愛校心の象徴としての校歌斉唱を推奨する。 ○自己存在感育成のひとつとして、朝学活における生徒呼名（健康観察を兼ねて実施）と、入学式における生徒呼名（H29年度より）を実施する。 ○自己有用感育成に向け、ボランティア活動の募集（校内・地域）を行う。 ○自己肯定感育成に向け、各学級・学年に応じた「いいところ探し」の取組を展開する。		
＜中学校ブロックとしての取組＞ ○毎朝学活時の呼名（自己存在感・自己肯定感の育成）→ 自尊感情の醸成 ○年間を通した三校での挨拶運動の実施（・統一したポスターを校内・地域に掲示 ・小中が時期を同じにした挨拶キャンペーンの展開） ○児童・生徒の発達段階に応じた「いいところ探し」を、各学級・学年・学校の実情に応じて取り組む（自己肯定感・自己有用感の育成）→ 自尊感情の醸成								

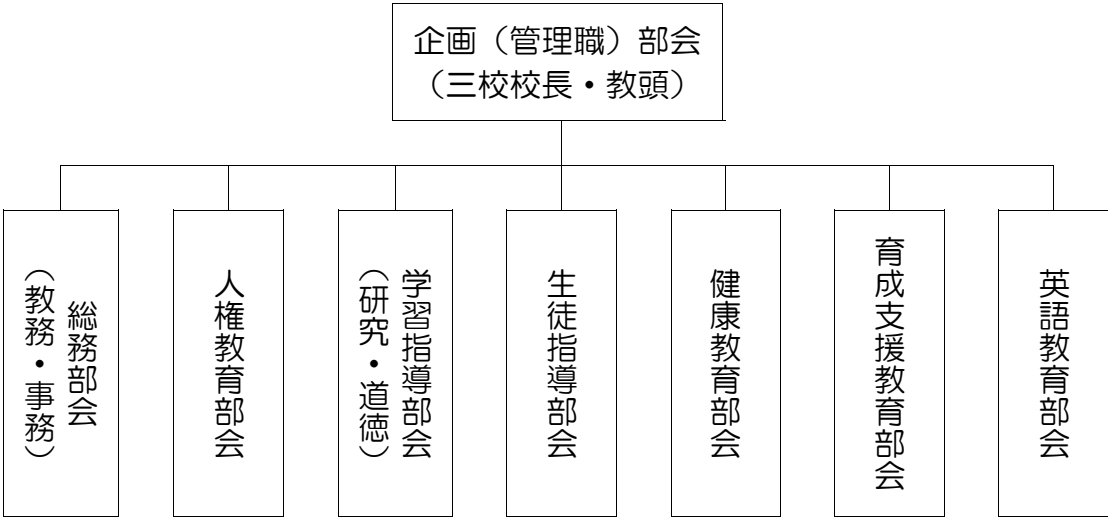
小中一貫教育推進体制

※様式自由。小中合同の校務分掌の部会等，小中一貫教育を推進する体制を記載してください。

大淀中 小中一貫教育推進体制・推進部会



小中一貫教育推進部会



家庭・地域との連携・協力に向けた取組

※様式自由。学校だより・HPによる取組の周知や，学校評価アンケート項目の統一など，家庭・地域との連携・協力に向けた取組について，記載してください。

- ・三校が学校だよりと HP において，大淀中学校ブロックが9年間を通して取り組む「軸となる取組・活動」について掲載し，家庭や地域の理解と協力を呼びかける。
＊学校だよりは地域への回覧を実施している。
- ・小学校の学校運営協議会と中学校の学校評議員会において，上記の「軸となる取組・活動」を周知し，理解と協力を求めると共に，地域や PTA が連携できることを模索する。
- ・各校の学校評価アンケートにおいて，「軸となる取組・活動」に関する統一したアンケート項目を再考する。
- ・「大淀中学校ブロック小中一貫教育だより」の発行を検討する。